**2022年度 第1回「ぶんせき」編集幹事会　議事録**

【日時】2022年6月21日（水）14：00～17：00（Webexによるオンライン会議）

【出席者（敬称略）】勝田、菅、津越、菅沼（記）、東海林、富岡（途中参加）、坂牧、村居、佐藤（慈）（事務局）

【欠席者（敬称略）】

配布資料

議題\_2022年度第1回編集幹事会

資料番号1\_原稿入手状況\_進捗

資料番号2\_目次2022年8号初\_\_0621

資料番号3-1\_2023ミニファイル\_企画主旨

資料番号3-2\_2023ミニファイル\_現況\_進捗\_20220620

資料番号4\_2022特集主旨説明

資料番号5\_印刷仕様による印刷費の違い（3C-1C）

勝田委員長の議事進行により、以下審議が行われた

1．原稿依頼・入手状況の報告　　　　　　　　　　　　　　　　　　　［資料番号1］

1）とびら・談話室・博士論文要録［勝田委員長］

とびら：No.09先月末脱稿予定を今月末に延長、来年4号まで原稿依頼済み

談話室：No.35 6月末脱稿予定、No.36 7月末脱稿予定だが執筆者未定

　　　　No.40と43は原稿依頼済み

　　　　10号あたりで原稿途切れる可能性あり

博士論文要録：1件WEBで依頼済み8月末脱稿予定

2）リレーエッセイ・トピックス・話題・こんにちは

リレーエッセイ（村居幹事）：順調。9号掲載原稿提出済み、10号掲載予定分は今月末脱稿予定、11号と12号執筆依頼済み、9号から岩井委員が補佐に入っている。

トピックス（坂牧幹事）：順調。No.83 原稿受理。No.66とNo.72が未掲載。

話題（菅幹事）：順調。No.39連絡待ち

こんにちは（津越理事）：No.14津越理事で内容確認し問題無ければ事務局に提出。

No.17訪問者募集中

3）解説・展望・講義，入門講座（2022後半・2023）［菅沼副委員長］

解説：No.18講義に変更、No.20,21著者修正終了、No.22執筆依頼済み

展望：変更無し

講義：No.13,14執筆依頼済み、No.15解説から変更し著者修正終了

入門講座（2022年後半）：No.06題目をコロンから括弧に変更

（菅沼が著者に連絡しWEBで変更する）

入門講座（2023年）：変更無し

4）創案と開発、ミニファイル（2022）［富岡幹事（代 勝田委員長］

創案と開発：変更無し

ミニファイル（2022）：No.12掲載可になった

5）その他［事務局］

インフォメーション：7号に1件あり

その他：討論会の報告を間に合う号に入れる

2．2022年第8号掲載予定［勝田委員長］　　　　　 　　　　　［資料番号2］

トピックス：

1件目「疎水性イオン液体による塩水からの水の抽出分離」への変更を著者に確認

2件目「用いた」を「用いる」に変更、

D/LをDだけにしても良いか、アミノ酸の前に「-」が必要か著者に確認

本文中の「MS」を、「質量分析計」か「IMS」のどちらを示しているか明記するよう著者にお願いする

談話室：「分析化学会の」→「日本分析化学会の」or「本(学)会」への変更を著者に確認

3．2022年第8号ホームページ掲載記事［勝田委員長］　　　　　　　　［資料番号2］

とびら、技術紹介、リレーエッセイ、談話室、解説

4．2023年ミニファイル［富岡幹事（代 勝田委員長］　　　　　　 　　［資料番号3］

7号9号は執筆者と交渉中（前 加藤幹事）。

今後、富岡幹事がWEBから正式依頼を行う。

5．2022年特集［津越理事］　　　　　　　 　　　　　　　　　［資料番号4］

追加で2件交渉中。8月10日を脱稿期日としている。11号掲載予定。

追加の執筆者も募集している。

6．年会ブースの利用について［勝田委員長］

ぶんせき誌として、年会でブースを出してはどうかという案について意見を出し合った。費用や各所との調整の問題もあり、ブースが余ったら無料で出せるようお願いし、ブースが出せた場合に他の2誌（分析化学、Analytical Science）に合同出展の声がけする。また、技術紹介の執筆者募集については、高分子分析研究懇談会の受付でチラシを配る。

以下、出てきた意見を示す。

・ブースを出す主な目的は、技術紹介の執筆者募集とミニファイル再録集の宣伝

・どんな特集が良いか等、アンケートを配るのも良い

・関連学会でブースを出すのはどうか

　　→バイオメディカルシンポジウム(9月2,3日)でブースを出すことは可能

・ぶんせき誌単独ではなく、3誌合同が良いのではないか。その場合、各編集委員長の賛同が必要。

・理事会の許可がいるかどうかは要確認。（特に他学会でブースを出す場合）

・ブースではチラシの他、冊子の見本を置く（在庫を確認する必要あり）

7．次年度の印刷仕様について［勝田委員長］　　　　　　　　　　　 　［資料番号5］

現在、冊子もPDFも3色刷りだが、冊子を白黒（PDFは入稿色）にすることで手間とコストが軽減される。但し、冊子を白黒にすることは会員にとってデメリットになり、それにより会員が減少する可能性もあるため、現段階では変更しないこととした。

以下、出てきた意見を示す。

・広告を1色にすると、出すメリットが薄くなるのではないか

　　→冊子を白黒にしても広告は今と同じカラー

・冊子を白黒にすることで、著者に色の確認をする事務局の手間が減る。

・白黒にすると意味がわからなくなる図が出てくるのではないか。

・現在、1500部印刷しているが、この数の妥当性を検証する必要がある。

・電子化による会員数の減少はどれだけあるか。会員数の増減を確認する必要がある。

・会員外の著者には冊子体を送付しているが、白黒になることで意味がわからない図になっていると学会のイメージが悪くなる（会員外はPDFを見ることができない）。

8．ぶんせきHPについて［勝田委員長］

(1) 表紙について

　ぶんせきのHPで目立つ場所に表紙が無い

　→トップページに表紙の図を入れる

(2) 過去の記事について

　現在、過去の記事を検索することができない

　→タイトルリストを作り検索できるように、準備していく

9．その他

(1) 投稿規定

・ぶんせき誌の投稿マニュアルとスカラーワンの投稿マニュアルで違う点がある。ぶんせき誌の投稿マニュアルに漏れている部分があれば、菅委員に連絡する。

(2) 投稿欄が変更になった場合

・原稿を依頼した後に投稿欄を変更した場合、菅委員に連絡し、執筆者には始めの執筆依頼メールにあるURLから投稿してもらうように連絡する。

(3) スカラーワンの仕様

・PDFは投稿できないはずだが、現在は投稿できるようになっている。分析化学誌の方でも変更をお願いしたはずが変更になっていない場合があり、確認が必要。

＜次回委員会は7月20日（水）開催の予定＞

以上